

Made in Gifuの 技術力とクオリティで 挑み続けます

株 栗山熱処理 代表取締役社長 栗山盛伸さん



熱処理、ってどんな仕事だと思いますか？
 「ごみを焼く仕事なのですか？」といった問い合わせもありますよ！」

そう豪快に笑いながら話すのは、株 栗山熱処理 社長 栗山盛伸さん。

「熱処理」の歴史は古く、日本が誇る伝承技術の一つ「鍛冶屋」の仕事がそれにあたります。

その技術は現在、高精密な素材・部品を作るには欠かすことのできない重要なものとなっています。例えば、自動車や建設機械などの素材・部品は、熱エネルギーを加えることで強さや硬さ、柔軟性などの性質を得ます。熱処理技術とは、製品の最も細部のパーツに命を吹き込む技術なのです。

栗山盛伸さん 55歳。創業者は、亡き母の弘子さん。

「男社会」のイメージが強い熱処理事業に、率先して参入した、まさに「女性起業家」のバイオニアでもあります。そんな母の勧めで、栗山さんも熱処理業の道へ。大手メーカーで2年間みっちり修業し、技術を磨きました。しかし、創業当時はエンドユーザーからの「認定」がなく、栗山さんは実績を積み信頼を得るため、真夜中に納品された部品を翌朝に納めるなど、文字通り24時間体制で働きました。

「小さな会社でも、大きな企業と対等に話し合いが出来る、技術力のある会社になりたい」

そんな想いを抱き、2代目社長となったのが、平成12年。日本の製造業は、バブル崩壊とともに高度成長期からの大量生産から、独自性のある「高度な技術・開発力」が求められる時期でした。部品製造業の多くが海外生産へのシフトを加速させていくなか、栗山さんは「技術力向上への努力こそ、中小製造業の生き残り策」と捉え、社員教育と、徹底した品質管理に力を注ぎました。

「ものづくり補助金」に挑戦

熱処理技術は専門性が強く、取引先から開発段階より綿密な相談を受ける事が多いため、栗山さんは社内にてOJT（企業内教育・教育訓練）を取り入れ、有資格者を増やすことに注力しました。またQC D（品質、価格、納期）の管理体制の強化を図り、常に挑戦し続ける体制を整えました。

そのなかで昨年、当所担当者と専門家とともに「中小

※ものづくり補助金/国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、革新的な設備投資やサービス開発・試作品の開発を行う中小企業を支援するもの。

企業庁「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新補助金(通称「ものづくり補助金」)への挑戦を決め、見事採択を受けました。

ものづくり補助金

事業計画

品質測定設備及び制御装置の新規導入による品質強化とコスト削減、短納期化の実現

支援しました！

当所エキスパート(専門家) 中小企業診断士 大野美雄氏



栗山熱処理の強みは、QC Dの限界への挑戦と迅速な実践力です。技術力の高さ・深さは社長の「社員に任せて伸ばす」という想いからなるもので、社員は皆、高いモティベーションを持ち込んでいます。しかし、当時の栗山熱処理の設備は、熟練者による目視が必要等の作業効率や標準化が課題となっており、生産性や品質を向上するために新たな設備導入が必要不可欠となっていました。そこで、この補助金による設備導入により生産性及びコスト競争力の強化を図りたいと考えました。また、最新の測定機器が加わることで製造能力が上がりリードタイムの大幅短縮、短納期化が可能になり、作業効率が大きく改善されます。そして、目視から測定機械に変わることで、測定レベル、品質が向上、標準化され、顧客満足に繋がることも目指しました。

この補助金の事業計画を活かした、「技術力トップ企業」としての新たな飛躍を期待します。

技術力向上で、高品質の製品をつくる

「お客様からの依頼には、何でも応えられます」

そう力強く語るのは、生産部第二工場責任者で社長の長男、将成さん。補助金採択を受けてから約1年が経った今、成果でもある技術力の向上として真っ先に挙げているのは「短納期対応」、そして「一点物・試作品の対応」。町工場ならではの「フットワーク」と「ネットワーク」のなせる技でもあります。内外からの評価も高く、企業の開発・研究に携わる方々や、大学からの研究試作の熱処

理依頼もあります。

更に「歪みの少ない金属熱処理」技術。「変寸」・「変形」の2つの歪みを限りなく最小限に。熟練技能者集団の自信と誇りでもあります。

こうして培われてきた「栗山技術」。

ある時栗山さんは取引先からこんな言葉をかけられました。

「実は他に依頼したら『出来ない』と言われて、栗山さんにお願ひしたんです」

「うちの力を信頼していただけた。」

忘れられない思い出のひとつです。

「近頃、海外に行くときMade in Japanの技術力の高さを改めて感じます」

社員たちに、町工場で働くことに誇りを持ってほしい。

「栗山熱処理でしか出来ない」技術力を、もっともっと取得させ「栗山熱処理だからできる」技術を、岐阜から発信していきたい！

「ロケット、航空機？ いいねー。うちの手掛けた部品が搭載されるのも夢じゃないですよ！」

そう語る栗山さんの大きな笑い声と笑顔には、描いた夢を「現実」へと導く力が、漲っています。

